

二宮尊徳

に の み や - そ ん と く 【二 宮 尊 徳】
(1787-1856) 江戸後期の農政家。通称、金次郎。相模国の人。合理的で豊富な農業知識をもって知られ、小田原藩・相馬藩・日光神領などの復興にもあたる。その陰徳・勤儉を説く思想・行動は報徳社運動などを通じて死後も影響を与え、明治以降、国定教科書や唱歌などにも登場。